

2014年度 事業報告

1 電話相談事業の継続実施

開局以来 31 年、365 日休むことなく相談電話の受信を続け、開局以来の相談電話は 551,428 件(3 月末)となった。

2014 年(平成 26 年)1 月から 12 月までの相談件数は 19,558 件であり、昨年より 738 件減少した。男女別では、男性からが、8,373 件(43%)、女性からが、11,185 件(57%) となっている。2014 年に自殺志向のある相談は 1,888 件で全相談受信件数の 9.7% であった。

2 相談員の養成と研修

相談事業の充実を図るため、次の通り養成と研修を実施した。

- (1) 第 32 期電話相談員養成講座終了
養成期間 1 年 受講者 11 名 認定者 10 名(男性 4 名、女性 6 名)
- (2) 電話相談員の継続研修を実施
第 1 期から第 31 期 電話相談員 164 名(男性 34 名 女性 130 名)
毎月 1 回、12 グループに分かれて研修を実施した。
- (3) 電話相談員全員を対象に全体研修会を実施
7 月 19 日(土) 講師 運上司子先生 参加者 62 名
11 月 8 日(日) 講師 阪田憲二郎先生 参加者 58 名
2 月 22 日(日) 講師 横山知行先生 参加者 69 名
- (4) フレッシュマン研修(30 期・31 期対象)
8 月 31 日(日) 講師 柳義子先生 参加者 11 名
- (5) 相談員の 3 年目の研修(29 期対象)を実施
7 月 12 日(土) 講師 後藤公美子先生 参加者 11 名
- (6) 相談員の 5 年目の研修(27 期対象)を実施
11 月 7 日(金) 講師 中村協子先生 参加者 9 名
- (7) サブスタッフ研修
1 月 31 日(土) 講師 青野勇先生 参加者 11 名
- (8) インターネット相談研修会
3 月 21 日(土) 講師 國分振先生 参加者 39 名
- (9) 「自殺予防いのちの電話公開講座」を実施
11 月 27 日(木) 講師 市岡裕子先生
会場 新潟日報メディアシップ 参加者 120 名
- (10) 第 33 期電話相談員の募集
応募者 10 名 受講予定者 10 名(男性 1 名 女性 9 名)
- (11) その他の研修に参加
 - ・第 32 回のいのちの電話相談員全国研修会群馬大会
11 月 13 日(木)から 11 月 15 日(土)
会場 磯部ガーデン 参加者 6 名
 - ・インターネット相談エリア研修会
1 月 11 日(日) 仙台会場 参加者 5 名
2 月 21 日(土) 東京会場 参加者 9 名

3 新潟いのちの電話開局30周年記念事業の実施

(1) 新潟いのちの電話開局30周年感謝の集い

4月19日(土) 会場 ホテルイタリア軒

記念式典 感謝状の贈呈

記念講演会

演題 「自殺対策の今後の展望- 官民学連携の重要性- 」

講師 本橋豊先生(京都府立医科大学) 参加者 227名

感謝の集い(懇親会) 参加者 178名

(2) 記念誌の発行(「聴」新潟いのちの電話30年の歩み) 4月1日発行 2000

部

4 いのちの電話インターネット相談の準備及び試行

インターネット相談員養成研修及び各種研修への参加と環境設定と接続を行った。

5 広報活動の推進

広報紙「聴く」を4回発行(No.121・122・123・124)した。ホームページで、「いのちの電話」の周知と活動の理解を深めた。

6 関係機関との協力

(1) 厚生労働省補助事業フリーダイヤル「自殺予防いのちの電話」に参加した。

(2) 新潟県ならびに新潟市の自殺予防対策会議のメンバーとして参加した。

(3) 相談関係機関連絡会等に出席し、情報交換を図った。

7 「新潟いのちの電話の集い」(会員総会)の実施

「自殺予防いのちの電話公開講座」時に実施した。

8 後援会との連携

後援会と連携し、次の事業を実施した。

(1) 普及啓発事業 自殺予防キャンペーン

小林親子の語る「親子のきずなとうつ病からの回復」と津軽三味線演奏及び及川新潟薬科大学名誉教授の講演を下記のとおり実施した。

講演会

① 期日 7月26日(土) 上越市柿崎コミュニティープラザ 参加者 170名

② 期日 8月23日(土) 新発田市 コモタウンコモプラザ 参加者 130名

③ 期日 11月10日(月) 十日町市 千手中央コミュニティーセンター 参加者 90名

④ 期日 2月26日(木) 長岡市 山古志復興交流会館 参加者 200名

講師 小林史佳、高橋竹育

「津軽三味線」小林親子が語る「うつ」から立ち直らせた

母の支えと津軽三味線の響き

講師 及川紀久雄「こころと薬の話」

(2) 第28回チャリティバザーの実施

9月28日(日) 会場 新潟市総合福祉会館 来場者 約400名

(3) 後援会と協力して、会員・寄付金の増加について取組みを行った。

9 フリーダイヤル「自殺予防いのちの電話」への参加

毎月 10 日、24 時間、いのちの電話は全国一斉にフリーダイヤルによる自殺予防相談を受けた。

期間 2014 年 1 月から 12 月までの受信件数

新潟の受信件数 618 件

全国の受信件数 28,377 件

貸借対照表

2014年(平成26年)3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
【資産の部】		【負債の部】	
流動資産	7,114,311	流動負債	314,700
現金	37,692	未払金	299,385
預貯金	7,050,358	預り金	15,315
貯蔵品	26,261	負債の部合計	314,700
固定資産	150,301,008		
基本財産	100,000,000	【純資産の部】	
基本財産特定預金	100,000,000	基本金	100,000,000
その他の固定資産	50,301,008	基本金	100,000,000
器具及び備品	2,300,008	その他の積立金	48,000,000
出資金	1,000	特定積立金	48,000,000
特定積立預金	48,000,000	次期繰越活動収支差額	9,100,619
		次期繰越活動収支差額	9,100,619
		(うち当期活動収支差額)	-2,954,668
		純資産の部合計	157,100,619
資産の部合計	157,415,319	負債及び純資産の部合計	157,415,319

(注) 器具及び備品から4,229,026円の減価償却累計額が控除されている。

資金収支計算書

自2014年(平成26年)4月1日・至2015年(平成27年)3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算額	決算額	差異	備考		
事業活動による収支	収	会費収入	4,800,000	3,131,000	1,669,000		
		寄附金収入	5,730,000	6,820,008	-1,090,008		
		都道府県補助金収入	3,200,000	3,137,000	63,000		
		助成金収入	1,800,000	1,792,000	8,000		
		受講料収入	600,000	345,000	255,000		
		30周年記念事業費収入	1,126,000	1,126,000	0		
		受取利息配当金収入	50,000	38,336	11,664		
		雑収入	400,000	382,098	17,902		
		入	事業活動収入計(1)	17,706,000	16,771,442	934,558	
		支	人件費支出	3,500,000	3,351,200	148,800	
		事業費支出	9,976,000	9,651,433	324,567		
		事務費支出	5,030,000	4,489,914	540,086		
		事業活動支出計(2)	18,506,000	17,492,547	1,013,453		
		事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	-800,000	-721,105	-78,895		
施設整備等による収支	収	施設整備等収入計(4)	0	0	0		
	支	固定資産取得支出	200,000	0	200,000		
		施設整備等支出計(5)	200,000	0	200,000		
		施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-200,000	0	-200,000		
その他の活動による収支	収	特定積立預金取崩収入	1,000,000	0	1,000,000		
		その他の活動収入計(7)	1,000,000	0	1,000,000		
	支	その他の活動支出計(8)	0	0	0		
		その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	1,000,000	0	1,000,000		
	予備費支出(10)	0					
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)+(10)	0	-721,105	721,105			

前期末支払資金残高(12)	0	6,799,611	-6,799,611	
当期末支払資金残高(11)+(12)	0	6,078,506	-6,078,506	

備考 ・補助金は、新潟県地域福祉基金運用益活用事業補助金(転送電話使用料)、自殺対策緊急強化事業補助金です。
 ・助成金は、新潟県共同募金会(62万円)、新潟県(47万円)、16市(67万1千円)、7町村(2万1千円)、新発田市社協(1万円)です。

財 産 目 録

平成27年 3月31日 現在

(単位：円)

	金 額
資産・負債の内訳	
I 資産の部	
1 流動資産	
現金預金	3,998,031
現金	29,799
普通預金	3,801,061
	現金手許有高
	新潟縣信用組合本店
	645,032
	第四銀行白山支店
	611,363
	大光銀行新潟支店
	1,908,452
	北越銀行古町支店
	320,348
	みずほ信託銀行新潟支店
	315,866
郵便振替貯金	ゆうちょ銀行
	167,171
未収金	2,366,000
貯蔵品	切手等棚卸高
	13,814
	流動資産合計
	6,377,845
2 固定資産	
(1) 基本財産	
基本財産特定預金	100,000,000
	新潟縣信用組合本店
	10,000,000
	第四銀行白山支店
	32,000,000
	大光銀行新潟支店
	32,000,000
	北越銀行古町支店
	5,000,000
	みずほ信託銀行新潟支店
	21,000,000
	基本財産合計
	100,000,000
(2) その他の固定資産	
器具及び備品	1,482,174
出資金	1,000
特定積立預金	48,000,000
	第四銀行白山支店
	16,000,000
	大光銀行新潟支店
	9,000,000
	北越銀行古町支店
	23,000,000
	その他の固定資産合計
	49,483,174
	固定資産合計
	149,483,174
	資産合計
	155,861,019
II 負債の部	
1 流動負債	
未払金	283,769
預り金	15,570
	流動負債合計
	299,339
2 固定負債	
	固定負債合計
	0
	負債合計
	299,339
	差引純資産
	155,561,680